柳井お宝マップ

柳東地区編

制作　豊笑家倶楽部　2006.2

① 山城（事能要害）

本丸（897㎡）、二の丸（100㎡）、西の丸（1260㎡）、堀切、東郭Ⅰ、東郭Ⅱなどからなる。

② 野口雨情詩碑

1989（平成元）年柳井市郷談会により建立。1935（昭和10）年来柳した時作詩した「柳井小唄」のひとつ。「夏は琴石 緑の風が柳井町中にそよそよと」

③ アキグミの木

頂上にある樹高約5m、根回り2.4mの木。

④ ヤブツバキ群生地

山頂周辺6ヶ所に分布する。面積31,100㎡、5000株以上といわれ、県内でも大規模な群生地。

⑤ ヤマザクラ

白潟の住民の方が植えたものが育ち、巨木になった。4月に花を咲かせる。根回り5～7m、高さは25mもある。

⑥ 愛宕社跡

火伏の神で、現在は春日神社にある愛宕社に鎮座している。

金剛寺（真言宗）

平安時代後期の933（承平3）年慈海和尚が清泰院を創んだのが始まり。本尊は阿弥陀如来金銅一光三尊立像（市文化財、日本三体の重仏と伝えられる）。柳井のお大師さまとして親しまれ、3月21日の縁日は有名。八十八ヶ所の参道があり、1500余躯の石仏や磨崖仏が静かにたたずむ霊場である。

水神菩薩堂（大物大明神）

そばにあるスギ木は、柳井市では高さ、目通り幹周とも最大の木で、やないの名木に数えられている。

柳東地区をもっと知りたい時は、以下の文献をごらん下さい。

『柳井図書館叢書第十九集　中世の柳井について』柳井市立柳井図書館，2004年

『史跡茶臼山古墳－保存整備事業発掘調査報告書－』

『史跡茶臼山古墳－保存整備事業保存整備報告書－』柳井市教育委員会，1999年

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年2月・平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。（承認番号平成18年2月8日柳都第79号）」